

少子高齢化・首都圏集中で『どうなる韓国』

コース・専攻：国際交流・協力

グループ名：チーム韓国

メンバー：大田正和（リーダー） 宇都宮建一 小倉悦子 黒木明 松下啓 松山茂 湊好男

【テーマ選定理由】

日本にとって一番近い外国、韓国。その韓国が今、少子高齢化の急速な進行による急激な人口減予想、地方都市の衰退などにより危機的な状況を迎えており、書店では「韓国消滅」、「縮む韓国」、インターネットでは「地球から消滅する最初の国」などショッキングな見出しが並んでいる。これが本当なのか、これから韓国はどうなっていくのか、韓国に興味のある7人が、少子高齢化、首都圏集中など韓国の直面する問題を、同様の問題を抱えている日本の状況と比較しながら実態を調査・分析することとした。

【活動内容】

1. 書籍・新聞などによる学習、内容の協議
2. YouTube 動画の視聴と内容の協議
3. テーマに関係した授業の聴講
4. フィールドワーク
 - (1) 国内フィールドワーク
 - ①韓国料理店勤務の留学生の面談
 - ②国内企業勤務の韓国社員との面談
 - ③神戸市シルバーカレッジ韓国学生との面談
 - ④木村教授の授業聴講と面談
 - ⑤新神戸コリアンミュージアムの視察・面談
 - ⑥大阪・鶴橋コリアンタウンの視察
 - (2) 海外フィールドワーク
韓国ツアー（釜山・慶州・ソウル）



シルバーカレッジ玄関前にて

【グループ学習を終えて】

「頑張らずに楽しいグループ学習」をモットーにすすめてきたが、韓国ツアーだけでなく11回の神戸市内韓国料理店めぐり、定例グループ学習での協議を通じて今まで知らなかった韓国の現状・問題点が明確になり、さらに韓国が身近に感じられるようになった。

また、少子高齢化・首都圏集中は日本でも直面する課題であり、グループ学習が終わった後も引き続き動向を注視していきたい。

日韓友好60周年を迎えた今、近くて遠い国韓国と日本の親睦が深まることを願うばかりである。



釜山 甘川文化村にて